

公明党要望項目一覧

平成28年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等						
<p>○安全・安心なまちづくり</p> <p>近年、全国各地で地震が頻発しており、本年4月の熊本地震では震度7を観測する地震が2度発生、甚大な被害を受けるなか本震と余震を変更する発表があり地震のメカニズムも変化してきている。</p> <p>政府の地震調査委員会は中国地方で今後30年以内にマグニチュード(M)6.8以上の地震が松江、鳥取両市を含む中国地方北部で起きる確率が40%に上るとの推計を示しており、本県における住宅への耐震対策が急がれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、平成12年までに建てられた住宅の耐震対策を推進すること 2、住まいの耐震化について県民への広報を一層推進すること 3、耐震診断・耐震改修の取り組みを更に進めること 4、一戸建て住宅の部分耐震改修制度も取り入れること 	<p>今回の熊本地震では、新耐震基準が適用された昭和56年6月以降に建築された住宅にも多くの被害が生じたこと等を踏まえ、現行の県による支援制度を拡充し、新たに昭和56年6月から平成12年5月までに建てられた住宅まで支援対象を拡大するとともに、昭和56年5月以前の住宅の耐震化を一層加速させるため、所有者負担の軽減に向けた補助率の引き上げ等を9月補正で検討している。</p> <p>引き続き、市町村と調整を図りながら、国の補助制度を効果的に活用した支援の拡充等を検討していく。</p> <p>【9月補正】住宅・建築物耐震化総合支援事業 9,000千円</p>						
<p>○観光・米子ソウル便対策</p> <p>米子ーソウル便が本年10月下旬からアジアナ航空の子会社、格安航空会社(LCC)エアソウルに移管される。県はエアソウルと相互交流協定を結び利用者の拡大に向けて協力していくこととなった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、これまでの決算委員会指摘なども踏まえ、アウトバウンド対策など利用者増加に力をいれること 2、エアソウルによる米子ーソウル便の安定就航に向け、これまでの利用者のほか新たに若い世代の需要拡大に向け取り組むこと 3、観光客以外のビジネス利用の需要対策に取り組むこと 4、公衆無線LANの整備、県独自のコンテンツ、観光ルート開発等によるインバウンド対策に取り組むこと 	<p>米子香港定期便、エアソウル就航など鳥取県と海外を結ぶ国際航空路線が新たなステージを迎えようとしていることを受け、訪日旅行者の多くを占める若者や個人旅行者をターゲットとした対策を講じるため、9月補正予算で以下の新たな事業や既存事業の拡充等を検討している。</p> <p>[新規事業]</p> <table border="1" data-bbox="904 1067 2123 1329"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空の新たなステージに向けた戦略事業</td> <td>35,324</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・香港や韓国でのテレビ番組等を活用した、若者や個人旅行者を主要ターゲットとしたメディア対策 ・米子香港便を利用した東南アジアからの誘客 ・米子香港便アウトバウンド対策 ・上海季節チャーター誘致知名度向上対策 ・外国人観光客に配慮した受け地体制整備 </td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額(千円)	内容	空の新たなステージに向けた戦略事業	35,324	<ul style="list-style-type: none"> ・香港や韓国でのテレビ番組等を活用した、若者や個人旅行者を主要ターゲットとしたメディア対策 ・米子香港便を利用した東南アジアからの誘客 ・米子香港便アウトバウンド対策 ・上海季節チャーター誘致知名度向上対策 ・外国人観光客に配慮した受け地体制整備
区分	金額(千円)	内容					
空の新たなステージに向けた戦略事業	35,324	<ul style="list-style-type: none"> ・香港や韓国でのテレビ番組等を活用した、若者や個人旅行者を主要ターゲットとしたメディア対策 ・米子香港便を利用した東南アジアからの誘客 ・米子香港便アウトバウンド対策 ・上海季節チャーター誘致知名度向上対策 ・外国人観光客に配慮した受け地体制整備 					

要望項目	左に対する対応方針等		
	県内空港航空利用促進事業（海外からの個人旅行者向け空港インフラ助成）	1,000	海外からの個人旅行者（FIT）のニーズが高いミニバン（7人乗り以上）のレンタカー利用に対して、既存のレンタカー支援事業に新たに加算制度を設定
	食のみやこ鳥取県インバウンド応援事業	7,396	拡大する個人客などに対応し、鳥取の食をPRするため、鳥取県ご当地グルメ情報冊子の翻訳及びWEBの作成を新たに行うとともに、県内飲食店グルメサイトの外国語版掲載に必要な経費の支援制度を創設
	〔既存予算の増額〕		
	外国人観光客誘致推進事業	69,200	香港、韓国等からのツアー誘致の拡大に伴い、必要となる観光貸切バス、旅行商品の造成、宿泊費助成等の支援
<p>○外国人観光客の増大に伴い、政府は地方への観光客振り分けの一環として、地方空港の増強支援を打ち出した。鳥取空港2000m滑走路は、国際便を誘致するには十分とはいえない。今後の進展も考慮し、2300mへの滑走路延長を検討されたい。</p>	<p>現在、主として誘致している台湾、香港からの国際チャーター便を鳥取砂丘コナン空港に誘致するためには、滑走路の延長が2000mと短いことが支障となっている。</p> <p>しかしながら、滑走路を延長するためには、地形上の制約から西の海側に延長するしかなく莫大な事業費が必要となることが想定されることから、長期的視点に立って検討することが必要と考えている。</p> <p>※鳥取空港の滑走路延伸（平成2年）1800m→2000m 事業費78億円</p>		
<p>○鳥取・岡山両県の県都鳥取市－岡山市間の道路整備を進められたい。</p> <p>岡山県は隣県だが、岡山市との道路事情が悪く、自動車での移動は3時間余りと時間がかかりすぎる。今後の産業・観光振興のため、黒尾トンネル付け替えや峠までの道路改良など本県側の整備実施と、峠から美作岡山道路（建設中）への接続時間短縮など岡山県側への働きかけをすすめられたい。</p>	<p>黒尾峠は、鳥取自動車道が全線開通後も交通量は大きく変化しておらず、急勾配やカーブが連続していることから、将来的には何らかの改善が必要と認識している。</p> <p>しかしながら、現在、鳥取県内については、直轄事業として高速道路のミッシングリンク解消と暫定2車線区間における付加車線の設置や4車線化を最優先に取り組んでいるところであり、岡山県内についても現在整備中の空港津山道路や美作岡山道路の重点的な整備が進められている。</p> <p>これら両県が優先すべき事業の進捗を勘案し、時期をみて岡山県と調整を行うこととしている。</p>		

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>○片原5丁目バス停留所乗車場での高齢者・障がい者への乗り降り時の安全対策を推進すること。</p> <p>バス停留所において、停留所看板、花壇等が密接しており、バス停車位置での乗り降りが厳しいと住民より改善の要望が出ている。</p>	<p>片原5丁目設置のバス停留所は100円循環バス「くる梨」のバス停留所であることから、「くる梨」の事業実施主体である鳥取市、運行主体である日本交通と日ノ丸自動車に対し、当該ご意見をお伝えし、道路管理者である県としても一緒になって、必要な対策を検討したい。</p>